

落札候補者決定基準

平成28年12月

三重県

1. 基本的な考え方

落札候補者の決定に当たっては、本県にとって最適な事業者を選定するため、入札価格の評価と提案内容の評価を加算する総合評価方式を採用し、合計点の最も高い入札者を落札候補者とする。

(1) 入札価格の評価

入札価格の評価については、後に示す計算式に基づき、400点を満点とする入札価格に対する評価点（以下「価格評価点」という。）を与える。

(2) 提案内容の評価

提案内容の評価については、「提案書評価表」に基づき提案内容の評価し、800点を満点とする「技術評価点」を与える。

(3) 合計点の最も高い者が2以上あるとき（同点のとき）の対応

以下の順で落札候補者を決定する。

ア 入札者それぞれの「価格評価点」及び「技術評価点」が異なる場合
「技術評価点」が高い者を落札候補者とする。

イ 入札者それぞれの「価格評価点」及び「技術評価点」が同じ場合
当該入札者間で三重県物件等電子調達システムを利用したくじ引きを実施し、落札候補者を決定する。

2. 入札価格の評価(価格評価点の計算方法)

「価格評価点」は、以下の計算式による。

$$\text{「価格評価点」} = 400 \times (1 - X / K)$$

X：入札価格（円）

※平成29年度から平成35年度までの年度別価格の総合計が入札価格となる。

K：評価基準額（円）

本件に係る評価基準額は、XXX,XXX,XXX円です。

※入札価格及び評価基準額については、全て消費税及び地方消費税を抜きの金額で計算を行う

※有効数字は、小数点以下2桁までを有効とし、小数点以下3桁目で四捨五入する。

3. 提案内容の評価(技術評価点の評価方法)

提案内容の評価は、提案書に基づいて以下の手順で行う。

(1) 大分類の設定

次のとおり大分類を設定する。

1. 業務システム：業務の理解度、基本的な考え方及びソリューション
2. 機能要件：新システムに求める機能要件の実現度
3. 非機能要件：機能を実現するためのシステムの構成及びソリューション

4. 設計・開発・導入支援・運用・保守：入札者の設計・開発・導入支援・運用・保守能力に係る部分

(2) 配点方法

技術評価点の満点を 800 点として、次のように上記 1～4 単位に点数を配点する。

<配点設定>

1. 業務システム：50 点（評価項目数：2 項目）
2. 機能要件：220 点（評価項目数：2 項目）
3. 非機能要件：130 点（評価項目数：2 項目）
4. 設計・開発・導入支援・運用・保守：400 点（評価項目数：10 項目）

(3) 項目加重点の考え方

評価項目の重要度に応じて、1～15 点までの項目加重点を設定する。

(4) 項目評価点の考え方

評価項目単位の採点は 0～10 点までの 11 段階で評価する。

点数	概要
10 点	※
9 点	特に優れたレベルの提案内容
8 点	※
7 点	優れたレベルの提案内容
6 点	※
5 点	標準的なレベルの提案内容
4 点	※
3 点	やや劣ったレベルの提案内容
2 点	※
1 点	劣ったレベルの提案内容
0 点	記述のない評価項目

※ 各評価項目で同点の入札者が 2 者以上あり、提案内容に明らかに差が見られる場合は、他者とのバランスを考慮した上で 1 点加点／減点する。

ア 技術提案書聴取会の内容を踏まえ、採点を行う。

イ 「項目評価点」は、提案内容を評価した各委員の評価点

(5) 「技術評価点」の計算

「技術評価点」は、以下の式で求めた調整後項目評価点の合計とする。

$$\text{調整後項目評価点} = \text{項目加重点} \times \text{項目評価点}$$

4. 落札候補者の決定方法

落札候補者の決定に当たっては、原則として「価格評価点」及び「技術評価点」の合計が最も高い者を落札候補者とするが、以下の要件を全て満たさない者は落札候補者とししない。

- (1) 入札価格が、「資料 1_入札説明書」で示した評価基準額以内であること。
- (2) 「様式 5_費用見積書」により提案された各年度別見積額が、「資料 1_入札説明書」で示した各年度の評価基準額以内であること。

※上記に記載した金額は、全て消費税抜きの額とする。

提案書評価表

分類		評価観点	評価項目	評価満点	項目加重点	配点	評価点(0~10)	得点	分類別配点
技術評価点	業務・システム	[システム全体概要]	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書に基づき、提案全体の枠組み、基本的な考え方、アピールポイント等を簡潔に記載しており、本委託の主旨に合致しているかどうか センターの運用や業務を理解した提案かどうか 様式等、仕様書に準拠したものになっているか 本県・センターの負担軽減を考慮した提案かどうか など 	10	3	30		0	400
		[本業務を実施する上で考えられる課題と対策]	<ul style="list-style-type: none"> 本業務(設計・開発時、運用・保守時それぞれ)を実施する上で、想定される課題やリスクが抽出されており、その内容が妥当であるか 提案された対策は課題の解決に有効であり、実現性が高いものであるか システム構成・方式、ブラウザバージョンアップへの対応が課題の解決を考慮した方針となっているか 	10	2	20		0	
	機能要件	[機能要件]	<ul style="list-style-type: none"> 機能要件に対する適合度合いは優れているか 必須の機能要件に対して実現不可な要件が存在しないか カスタマイズ内容・費用対効果が妥当であるか パッケージコンセプトはカスタマイズに柔軟に対応できるなど、本県の運用負担・費用負担に配慮されたものであるか パッケージにおける法制度改正対応方針(費用負担の考え方、コスト抑制のための仕組み等)が妥当であるか など 	10	20	200		0	
		[他システム連携]	<ul style="list-style-type: none"> 現行通りの他システム連携を実現することが明確であるか 他システム連携における調整等、本県の作業負担を考慮した提案がされているか 	10	2	20		0	
非機能要件	[システム基盤]	<ul style="list-style-type: none"> システム稼動環境が具体的に提案されているか 必要なハードウェア・ミドルウェア・ソフトウェアが網羅的に記載されているか 必要なパフォーマンスが望めるシステム基盤構成か ディスクなど、十分なキャパシティを持つ提案しているか 十分な拡張性は考慮されているか 障害対策を考慮し、十分な冗長性を確保した構成を提案しているか セキュリティを考慮した構成を提案しているか など 	10	10	100		0		
	[セキュリティ要件]	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス対策、不正アクセスの運用監視等、本件が求める要件について提案しているか 各種規定の遵守、個人情報の取扱い等に留意したデータ管理等について提案しているか など 	10	3	30		0		
設計・開発・導入支援・運用・保守	[開発方法]	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト管理運営の考え方が示され、妥当であるか 進捗管理、リスク管理、品質管理等の各種プロジェクト管理に係る作業内容が具体的に示され、妥当であるか など 	10	5	50		0		
	[データ移行]	<ul style="list-style-type: none"> データ移行が安全かつ正確に対応可能と考えられる方法(リハーサルの実施、ツールの活用等)が提案されているか 新旧システム切替が円滑に可能と考えられる対策が提案されているか 業務運用や職員の負担を考慮した移行方法が提案されているか 	10	4	40		0		
	[研修・稼動前後サポートについて]	<ul style="list-style-type: none"> 教育研修に関する考え方が示され、妥当性があるか 想定する人数、回数など本県の想定内容を満たしているか 稼動前および稼動直後のサポート体制が明確となっており、妥当であるか など 	10	3	30		0		
	[運用・保守要件]	<ul style="list-style-type: none"> 平常時保守・緊急時保守の考え方が示され、妥当性があるか 保守内容は本県の求める要件が網羅されているか 具体的な保守作業内容は本県の要件に合致しているか など 	10	13	130		0		
	[システム改善保守]	<ul style="list-style-type: none"> システム改善保守、バージョンアップ対応の考え方が示され、妥当性があるか 追加費用発生の見込みの有無(管理項目の追加・変更、法改正への対応可否、仕様変更、システム改修等)が明確であるか など 	10	3	30		0		
	[障害時の復旧]	<ul style="list-style-type: none"> 本県の要件である目標復旧時間等のサービスレベルを満たすことが明確に示されているか 障害時の対応を迅速に行うための対策を提案しているか、またその内容が妥当であるか など 	10	2	20		0		
	[体制]	<ul style="list-style-type: none"> システム構築等、類似のプロジェクトの経験があるプロジェクトマネージャー、担当者が一定の関与をするか システム構築業者側、本県の役割分担が明確に示されており、本県の想定にも合致しているか 運用・保守フェーズにおいても構築メンバーがサポートに入ることが可能な体制としているなど、十分な体制が提案されているか など 	10	3	30		0		
	[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> 短期間での開発及び安定稼動を実現するためのスケジュールが具体的に提案されており、妥当であるか 実施する作業内容が具体的に明示されているか 仕様書に示したスケジュール案とは異なるスケジュールの提案があった場合、そのスケジュール設定理由が妥当と考えられるか など 	10	4	40		0		
	[実績]	<ul style="list-style-type: none"> 他団体への導入実績の有無(実績数、団体規模等により総合的に判断) 	10	2	20		0		
	[その他]	<ul style="list-style-type: none"> 他者には無い独自の提案内容が示されているか、またその提案内容は本県にとって有益な提案内容であるか 	10	1	10		0		
価格評価点	見積金額	[費用]	「価格評価点」=400 × (1-X/K) X: 入札価格(円) ※平成29年度から平成35年度までの年度別価格の総計が入札価格となる。 K: 評価基準額(円)	-	-	400	-	400	
合計				160	80	1,200	0	0	1,200